

R.I. 社会システム学科・3年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

留学のきっかけは、異なる文化で学んだ経験が自分をより成長させるだろうと思い、さらに学びや経験を通じて自分を広げたいと思ったからです。留学を考えた時期は高校時代の終わり頃で、将来の夢や目標を見つめ直す中で、異なる文化での学びが自分にとって必要であると思い、親や友人と相談し、計画を練り留学を実現しました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

IELTS の勉強をしました。

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

IELTS の勉強

◆ ビザ申請方法

親にも手伝ってもらいながらしました。

◆ その他

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

CHN が空港まで送迎してくれました。車で1時間くらいでした。

◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

友達作りに励みました。

◆ その他必要な諸手続き方法

支払い系は CHN から送られてきたリンクからしました。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

日本人がとても多かったです。

◆ 授業内容、課題、試験

授業はリーディング、リスニング、ライティングの授業で一応分かれていましたが、どの授業もプレゼンなどがありました。課題はどのレベルでも毎週同じ課題で、慣れるまでは多く感じますが慣れたらすぐに終わります。試験は全部オンラインでしたが、カメラをオンにしながらする形式でした。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学自体はとても広いのですが、語学学校の時にどこに何があるかはわかっていたので快適でした。

◆ 履修科目について

・ECON 1050: Introductory Microeconomics

カナダの学生は高校生の頃に大学の予備授業として経済学の基礎を学んでいるので、初めは授業についていくのが難しかったですが、周りの友達に聞いてなんとか授業についてきました。テストは対面式で自分との戦いでした。課題は毎週出ていましたがとても難しかったです。

・SOC 1500: Crime and Criminal Justice

この授業は先生がとても面白いので、犯罪学に興味がある人は取ったほうが良いと思います。レポートとオンラインテストがありました。授業を聞いていたら簡単にできると思います。とりあえずとても面白い授業で人気の先生だったので、履修登録する時は画面に張り付けて履修してください！

・PSYC 1000: Introduction to Psychology

この授業は完全オンライン（オンデマンド形式）でオンラインテストとレポート、調査課題（いろんなイベントに参加してそれに関する短いレポートを提出する）がありました。完全オンラインなので友達を作りたい人には向きませんが、心理学に興味がある人や授業をたくさん取りたい人におすすめです。授業や課題、テストの難易度的にもそこまで難しくありません。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動について

特に課外活動などには参加していませんでした。

⑧ 現地での住まいについて

住居タイプ：ホームステイ

滞在期間：語学研修期間 6ヶ月 と正規科目履修期間 4ヶ月

部屋：一人部屋（地下一階がほぼ全部自分の部屋でした）

ルームメイト：2階に一人同じ大学の語学学校に通う子がいました。一人目は日本人でその子が帰ったあとにきた子は韓国人でした。

部屋のタイプ：個室。シャワーは共同でしたが、トイレと洗面台は自分専用のものがありました。

食事形態：ホストファミリーが夜ご飯は用意してくれていました。朝と昼はホストファミリーに必要なものを買って買って来てもらってそれを食べる感じです（朝はだいたいシリアルで昼はサンドウィッチが多かったです）

大学までの移動方法・時間等；バスで10分

⑨長期休暇の過ごし方

LA、ケベック、モントリオールなどに旅行しました！あとは家族が会いに来てくれたりもしました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

特に何もしていませんでした。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

友達と休暇中に LA のディズニーや USJ に行ったり、ハリウッドサインを見たりしたのがとても楽しかったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

日本食がとても恋しかったです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

ホストブラザーたちが学校に通わずホームスクールをしていたのですが、それがかなり一般的なことだと聞いた時とても驚きました。

III. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

学校がとても広く、緑がとても豊かなので、リスなどがどこにでもいるのが個人的にとても気に入っていました。また、ジムなどもあり快適に健康に毎日過ごせたとと思います。

悪かった点としては、本科がない間はほとんどの施設が閉まっていたりしたので同じ場所に留学生が集まってしまう形になり、日本にいるのかな？と思うところです。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの。

パソコンは絶対に必要です。ないと何もできません！あとは雪もすごいので(特に2-3月)スノーブーツが必要だと思います。普通の運動靴だと滑るし、靴下がびしょ濡れになります。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

カナダの人たちはとてもフレンドリーでたくさん話しかけてくれるので、自分も気軽に他人に話しかけられるようになったと思います。また、大学の授業内容で困ることはあっても、英語が聞き取れなかったりわからなくて困ったりすることはなかったので、自分でも気がつかないうちに語彙力も上がっていたのだと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

最初は不安なことだらけかと思いますが、わからないことがあれば周りに聞けばすぐに色々教えてくれるので大丈夫です。ただ、カナダは物価が少し高いので金銭面にはある程度ゆとりを持って行ったほうがいいと思います。

IV. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

かなり漠然としているのですが英語を使う仕事につきたいです。

V. 写真



ナイアガラの滝です。
留学中に3回行きました笑
冬の時期は洞窟を通して下から滝をみることができ、夏は船で滝間近まで行けます！全身ビショビショになるのは覚悟してください！！



カナダズワンダーランドです！
カナダ最大の遊園地です！ここに行くのは車を持っている人に連れて行ってもらうのが一番ですが、電車とバスでも行けます！ハロウィンの時期はホラーナイトもやっています！

これは大学の学部対抗のホッケー試合です！
普段からホッケーやフットボールの試合などもあるのでぜひ見に行ってみてください！盛り上がり最高です！



これはトロントの真ん中のモニュメントです！
夏は水を貼っていますが写真の通り冬はスケートリンクとして開放しています！ここだけでなく、ゲルフのモニュメントの前にも同じく冬にはスケートリンクとして開放しています！



これは私がスノボに行った時の写真です！
初心者コースでもかなり長いコースなので
とても楽しめました！

E. N. 英語英文学科・3 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

幼い頃から海外に興味があり、姉も留学経験者でその姿を見ていたので、留学をしたいと中学時代から漠然と考えていました。そして将来英語を使った仕事に就きたいと考えていることもあり、留学をして英語力をつけ海外の人と交流することが必要だと考えていました。カナダに留学したいと考え始めたのは、両親がカナダに旅行をしたことがあり、カナダの自然がきれいなことを聞き、また高校時代の先生から勧められたことが大きな理由です。 Semester 留学ではなく協定大学留学を選択した理由は、協定大学留学では ELP で学習した後大学の正規科目を受講するという流れだったので、初めての留学には適していると考えて選択しました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

協定大学留学に出願するために、私は TOEFL を受験しました。今まで TOEFL を受験したことがなかったので参考書をネットで調べたり、友達からお勧めを聞いたりして購入しました。Reading は何回も参考書を解くことで問題の傾向に慣れるようにして、Listening は海外の Youtuber の動画を英語字幕で見っていました。Speaking は一人で練習することに不安を感じたので大学の Speaking and Writing support を利用し、マンツーマンで指導してもらいました。またレアジョブで英会話の練習もしていました。Writing や協定留学出願のレポートに関しては、普段からの授業で学んだことを応用して書きました。

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

映画や動画を英語字幕で見たり、ポッドキャストを聞いたりして英語を聞く力をつけました。またアルバイト先で外国人が来た際には率先して話しかけて助けたり、雑談をしたりして話す機会を作りました。

◆ ビザ申請方法

ビザの申請は自分自身で行いました。ウェブサイトから登録するのですが簡単な英語なので委託する必要はなかったです。登録まで時間がかかったので早めに登録する必要があると思います。ウェブサイトから登録した後、私は大阪の申請センターに行き最終的な登録を行いました。

◆ その他

日本のことを聞かれたときに答えられるようにしておいた方がいいということを先生方か

ら教えていただいていたので、日本の文化や宗教について英語で説明できるように準備していました。日本でできる準備でしておけばよかったことは、日本のアニメを見ることです。カナダで出会った人の多くが日本のアニメを知っていたので、アニメは何か一つでも知っているとともに話が弾むと思います。私はアニメをあまり見ないので、逆にアニメについて教えてもらっていました。日本で流行っているアニメはカナダでも流行っていると思います。

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

カナダの空港からは、同志社大学生の団体と一緒に Guelph 大学に向かいました。空港から大学まで約 1 時間かかりました。大学から滞在先の家まではホストマザーが迎えに来てくれて、そこからさらに 10 分ほどかかりました。

◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

オリエンテーション期間は現地の生活について話を聞いたり、キャンパスツアーに参加したりしました。また、大学から Guelph 市内で使えるバスカードが支給され、Guelph 市内を散策していました。

◆ その他必要な諸手続き方法

現地での支払い方法は基本的にカード支払いでした。日本の空港でカナダドルへの両替を多めにしたのですが、あまり必要なかったと思います。ただ、現金支払いのみの店や友達との割り勘で必要になることもあったので、必要最低限を持ち歩くだけでいいと思います。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

語学学校の授業は Guelph 大学の空き教室を使います。大学の正規生が使わない教室を使うことになるので、バス停から少し遠い場所や地下の教室を使いました。大学内は正規生がいる間は人が多く活気もありますが、正規生が夏休みの間は学校の食堂やキャンパスストアなど一部の施設が使えなくなったりするので、少し不便です。語学学校の英語環境については、日本人がとても多かった印象です。日本人が 6 割、韓国人が 3 割、パナマ人が 1 割くらいだと思います。日本人が多いことにより、必然的に日本語で話してしまうことが多くなりますが、授業中や他の国の友達がいるときは英語で話していました。語学学校のイベントは多くあり、ナイアガラの滝へ行ったり、Guelph 市内の川でボートを漕いだり、Movie night、トロントへ散策など様々です。また、バディープログラムという、Guelph 大学の正規生とバディーを組めるプログラムは、一対一で話すことができます。一緒に出掛けることもできるのでとてもいいプログラムだと思います。

◆ 授業内容、課題、試験

クラスは 1~10 のレベルに分けられており、カナダに出発する前に提出した課題によって決められました。自分のレベルに合ったクラスで **Reading** と **Writing** の日が週 2 日、**Listening** と **Speaking** の日が週 2 日、の週 4 日授業を受けていました。授業はペアでのエッセイの作成やプレゼンテーション、ディベートなどを行いました。問題を解くときはまず一人で解き、それからペアと話し合っ発表する形でした。課題は毎週同じものをコツコツしていくものと授業に関連したものがありました。どちらも最初はやり方が分からず時間がかかりましたが、慣れていくと時間はあまりかからなくなっていきました。レベルが上がるにつれて課題の難易度が高くなっていくので、授業内で理解していくことが大切でした。試験はオンラインで行われました。どの試験も授業内でしたことの振り返りなので、授業の振り返りをしていれば大丈夫だと思います。授業以外で役立ったのは、週に 1 度必ず受けなければならない、**conversation tutor** という正規生のボランティアの学生と **ELP** の学生数人のグループで話せるという機会です。学校の先生ではなく学生と話せるので、英語でラフに話せるのがとてもよかったです。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

夏休み期間も終わり、学校に活気が戻りました。新入生のためのイベントが多く開催されていたので、Guelph 大学のアプリで何のイベントがあるかを確認して参加しました。新入生も新しい友達を作ろうとしているので、自分からどんどん話しかけていき、友達を作りました。施設に関しては大学が始まったこともあり、食堂や図書館やジムはとても混雑していて時間に余裕が必要でした。

◆ 履修科目について

• **Resp. tourism policy and plan**

この科目は観光についての科目でした。授業はレクチャーの日とセミナーの日があり、レクチャーでは先生の話聞き、セミナーの日はクラスを半分に分けられて小クラスでのレクチャーで学んだこと意見を述べる時間でした。課題は定期的に提出するものでした。課題で書いたことをセミナーのクラスで発表に使いました。テストは中間テストと最終テストの二回でどちらも対面式でした。最終テストは記述式だったのでしっかりと理解する必要がありました。

• **Human development**

この科目は人の成長についての授業でした。人が生まれてから年を重ねるにつれての心と体の成長について学びました。授業は週に 1 回、大人数のクラスでした。課題はゲーム形式の問題と小テスト、レポートがありました。テストは中間テストと最終テストどちらも対面

式のテストでした。英語での用語がとても難しかった授業でした。

・ **Sociology**

このクラスは社会学のクラスでした。週に 1 回、大人数のクラスでした。課題は Case study の課題を行うのとレポートでした。Human development 同様に用語が難しく大変でした。しかし、高校の授業で聞いたことがある名前が出てきたこともあり自分の予備知識と照らし合わせていくことが楽しかったです。テストは中間テストと最終テストがあり、どちらもオンライン形式でした。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

クラブ活動は JCC という、日本の文化について興味がある人が来る部活に参加しました。ボランティア活動は学校が募集していたものに参加し、美術館のモニュメントの清掃をしました。ボランティア活動に参加したいと考えていたので大学内のボランティアの部署によく話をしにいきました。

⑧ **現地での住まいについて**

◆ **正規科目履修期間**

留学終了まで同じ家にホームステイをしていました。正規科目を履修している間はパナマ人のルームメイトがいました。

⑨ **長期休暇の過ごし方**

長期休暇はどの学生も旅行に出かけていました。私が旅行中に行ったのは、ロサンゼルス ケベック・モントリオール、ソルトレイクシティ・ラスベガス、バンフです。どの場所も人生の中で一度は行って見たかった場所なのでとてもいい思い出です。自分たちですべてを準備して向かう旅行はとても貴重な経験でした。

⑩ **留学期間中の就職活動の取り組み**

留学期間中の就職活動は特に行わず、留学に集中していました。学校で配信されていたガイダンスなどは時間があるときに見ていました。

II. 留学の感想

① **留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること**

留学中に楽しかったことは、様々な人種の人に出会えたことです。カナダにいと様々な人と出会うことができいろんな文化を知ることができました。パナマ人のルームメイトと日々の生活の違いや、友達の話、恋愛観など国によっての共通点や相違点を話して盛り上が

りました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

留学でつらかったことは食生活の違いです。元々日本にいるときからパンよりお米の方が好きで、パスタやピザも得意ではなかったため留学当初はとてもしんどかったです。Guelph 市内には ethnic supermarket があり、そこで日本食を買ったりしていました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

洗濯物を週に一度しか回さず、乾燥機で乾かすことに驚きました。日本にいるときは外で干していたのですが、乾燥機となると服が縮んでしまって洗濯を慎重にしなければなりません。とてもいい文化なのはバスから降りるときに必ず「Thank you!!」と大きな声で運転手に感謝を述べることです。感謝を伝えるという姿にとていいなと思いました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

よかった点は、留学生に優しいところです。語学学校にいたときからたくさんのイベントが催されていて、色々なところに友達と出かけることができました。また大学内の部活を見ても、留学生に対する部活があったり、日々留学生の困りごとに対応してくれるミーティングがあったりしました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必ず持っていく必要があります。授業の中でパソコンを使うことが大半です。課題の提出、テストもパソコンで行います。もし持っているのであればタブレットを持っていくと安心だと思います。実際、カナダでパソコンを壊してしまった友人を数人見ました。現地で買うことに抵抗がある人は必要だと思います。あとは自分が普段使っている化粧品類は持っていくといいと思います。日本製をカナダで買うこともできますが 2 倍以上の値段でした。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学を通して、Speaking と Listening 力は本当に身についたと実感しています。帰国前にホストマザーが私に、「カナダに到着してから数日間、あなたは英語で話しかけてこないで！みたいなオーラを出していたけれど、本当に今ではおしゃべり好きな子に大変身したね」と言ってもらえました。自信がなくてもとことん話しかけて、わからなければもう一度言ってもらおうという繰り返しで本当に力をつけることができたと思います。最初は聞かれ

たことに答えるだけだったのが、今では話を広げて会話できるようになったと思います。日本に帰国してからも、外に出かけたときに困っている人がいたら話しかけるなど、英語に自信がついたことを実感しています。また、精神的にも成長したと思います。留学中に辛いこともたくさんありました。そのとき、自分が落ち込み続けないようにする気持ちの切り替え方、何事にも執着せず自立する気持ちを養うことができました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学で得た経験は日本では得られないものだと思います。留学に行く目的は多種多様ですが、他人に流されず自分の目標のために頑張ってください。

IV. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

将来は日本にいながらも海外との関わりが持てる仕事につき、英語を使っていきたいと考えています。

V. 写真



友人と Glen Eden というところに行きスノーボードをしました。日本のリフトよりもスピードが速くて、みんな転がりながらリフトから降りたことを覚えています。初心者の友人もこの一日で滑れるようになり楽しみました。

2023年度（春スタート・1年）
University of Guelph



初めてのアメリカ旅行でカリフォルニアのディズニーランドに行きました。幼い頃から行ってみたかった場所に行くことができ、夢が叶った瞬間です。



Rogers CentreにBlue Jays対Angelsの試合を見に行った時の写真です。この試合では大谷翔平が登板し、ホームランを打ちました。Blue Jaysのホームグラウンドにも関わらず観客も歓声を上げていました。

2023 年度 (春スタート・1年)
University of Guelph



英語を学ぶきっかけになった High School Musical の撮影地のソルトレイクシティの学校に行きました。学校には私以外にも多くの人が訪れていました。



バンフのレイクローイズに行ったときの写真です。湖がとても青くて驚きました。ボートに乗り奥まで進んでみたりして楽しみました。